

研究成果情報	畜産	17	豚	飼養管理
新技術・情報名	木酢酸粉末及びキナ粉添加飼料給与が銘柄豚の発育や食味に与える影響		分類	②

## 1. 成果の内容

### 1) 技術・情報の内容及び特徴

県産銘柄豚（WL・D）に市販飼料（TDN75.3%、DCP12.6%）、これに木酢酸粉末及びキナ粉を添加した飼料を給与し、肥育時の発育や食味に与える影響を明らかにした。

- (1) キナ粉添加飼料の給与は、市販飼料だけに比べて発育は低下するが可消化粗蛋白質の増加効果により脂肪層の厚さは7~14%薄く、ロース断面積は8%大きくなり改善される。しかし、キナ粉には融点の低い不飽和脂肪酸が多く含まれているため、脂肪融点の低下により軟脂の傾向が認められる。
- (2) 木酢酸粉末添加飼料の給与は、発育や枝肉成績の改善効果はない。肉色の明るさは差はないが赤色は7~10%強くなる傾向が認められる。
- (3) 食味の優れている豚肉は、市販飼料及び木酢酸粉末1%添加飼料給与の場合で、その好ましい選択理由の中で一番多いのはうま味で33~50%を占めている。

### 2) 技術・情報の適用効果

県産銘柄豚用飼料原料選定の資料とする。

### 3) 適用範囲

県下全域の養豚農家

### 4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

木酢酸粉末添加飼料を給与する場合は、均一に配合するように注意し肥育後期（60kg以上）に1%以内で給与する。

2. 具体的データ

表1 発育及び枝肉成績 (平成3年)

区分	供試頭数	開始時体重	終了時体重	終了時日令	1日平均増体量	飼料要求率	脂肪層の厚さ	ロース断面積
A	8頭	63kg	107kg	169日	860g	3.94	2.8cm	21.8cm <sup>2</sup>
B	7	64	108	169	836	4.35	2.7	20.4
C	7	67	108	162	848	3.91	2.6	23.6
D	8	63	108	167	806	3.91	2.4	23.6

注) ①A: 市販飼料 B: 市販飼料+木酢酸粉末1% C: 市販飼料+木酢酸粉末1%+キナ粉2.5% D: 市販飼料+木酢酸粉末2%+きな粉5%  
 ②脂肪層の厚さ: 肩、背、腰の3部位平均

表2 肉質成績 (平成3年)

区分	肉色			脂肪融点
	明るさ	赤	黄	
A	52.4	8.4	4.7	27.9℃
B	52.2	8.7	5.5	28.2
C	52.3	7.6	4.9	27.9
D	52.5	7.8	4.7	26.9

注) ①肉色: 測色色差計  
 ②脂肪融点: 背部第1脂肪層

表3 食味テスト (平成3年)

区分	選択人員	好ましい順位				好ましい選択理由			
		1位	2位	3位	4位	うま味	舌ざわり	歯ごたえ	柔らかさ
A	35	10	11	8	6	6人	4人	5人	3人
B	35	13	7	3	12	9	3	2	4
C	35	4	9	13	9	2	2	1	2
D	35	8	8	10	9	5	1	5	1

3. その他特記事項

担当部科室名 : 畜産研究所 中小家畜部 養豚研究室  
 研究担当者名 : 大和碩哉 投野和彦 佐藤充徳  
 研究課題名 : 県産銘柄豚の飼養管理技術体系の確立  
 期間 : 平成3年度 予算区分: 経常  
 発表論文・資料名等 : 平成3年度畜産関係試験成績  
 取りまとめ責任者 : 大和碩哉